

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236(中央区健康福祉課)

年度	平成30年度		
施設名	新潟市子育て応援ひろば	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	子育てを行う市民の交流及び集いの場として、また、育児不安等についての相談及び指導並びに子育てについての情報提供を行うとともに、一時的又は緊急的な保育ニーズに対応し、市民の子育てを支援する目的として設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H30.6.21
歳入	3,015	正職員	1	修正日	
歳出	43,310	非常勤	3	評価日	R1.6.28

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	より多くの家庭に利用してもらい、子育ての負担を軽減し、家庭を支援します。	年間利用者数35,000人以上(単位:人)	39,780人	33,512人	29,623人	35,000人	28,806人	過去3年間の平均値相当の目標を設定した	ひろば無料開放短時間保育	全体としては減少傾向にあるが、周知広報に力を入れ、0・1歳児の新規利用者が増えた	C:未達成
2	業務	より一層の利用を促すため、ホームページやパンフレットで情報提供をしていきます。	広報年間42回以上(単位:回)	年42回	年42回	年42回	年42回	年42回		毎月のひろばだより 新潟市のホームページ 市報にいがた 情報誌掲載	ホームページやひろばだよりに加え、新潟子育て応援アプリへの連携など、周知広報を強化した	A:達成(優)
3	市民	要望や苦情には、速やかに対応します。	随時実施するアンケートに5開所日以内に回答	随時	随時	随時	随時	随時		アンケート実施	回答や改善結果の掲示スペースを設け、常設アンケート(年間19件)にも適切に対応した	A:達成(優)
4	財務	管理経費の削減を図った上、配当予算を有効に執行します。	利用者1人当たりの管理経費1,240円以下(単位:円)	1人当たり1,039円	1人当たり1,255円	1人当たり1,303円	1人当たり1,240円	1人当たり1,504円	過去3年間の平均値相当及び当初予算/年間利用者数を参考に目標を設定した	ひろば及び短時間保育の利用者数の増	利用者数の減少や歳出の増により、1人当たりの単価も上昇した	C:未達成
5	業務	災害、事故発生時の対応を強化します。	訓練等の実施(単位:回)	年5回	年5回	年5回	年5回	年5回		避難訓練(2回) 防災訓練(2回) 不審者対応訓練(1回)	CO-C.G.ビル全体の防災訓練に参加。利用者との避難訓練も実施。安心安全を確保した	B:達成
6	市民	乳幼児を対象としたいろいろなイベントを計画し、楽しく子育てできる環境を提供していきます。	イベントの年間実施回数507回以上(単位:回)、参加人数7,000人以上(単位:人)	466回 7,068人	509回 7,264人	484回 6,780人	507回 7,000人	507回 7,142人	過去3年間の平均値相当の目標を設定した	育児講座・絵本の読み聞かせ 日曜日のお楽しみ スタッフと一緒に	周知広報の強化やイベントの認知度の浸透などにより、参加者が増加した	A:達成(優)
7	人材	内部研修、外部研修に積極的に参加します。	職員1人あたり年間1回以上の研修参加(単位:回)	外部1人1回 内部16回	外部1人1回 内部18回	外部1人1回 内部19回	外部1人1回 内部19回	外部1人1回 外部24回		保育研修への積極的な参加 内部研修で資質向上	内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行い、職員の資質向上させた	A:達成(優)
8												
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>移転後1年が経ち、新規の利用者も増えています。さらに認知度を高め、市民はもとより市外、県外の方にも安心安全で利用していただける居心地のよい”ひろば”を提供します。</p> <p>あわせて、下記の5点について重点的に取り組み、目標の達成に努めます。</p> <p>①9時00分より開館、短時間保育の当日受け入れを実施し利用者のニーズに対応します。</p> <p>②イベント・体操タイムの充実を図ります。</p> <p>③「ここにこ通信」を設けます。アンケート回答の掲示・役立つ情報を提供し子育て支援に努めます。</p> <p>④ひろばの安全管理に配慮します。</p> <p>⑤職員の資質向上に努め、親切・丁寧な対応に心がけます。</p>	<p>ひろば利用者については、全体としては減少傾向にありますが、0・1歳児の新規利用者は増えています。その一因として、新潟子育て応援アプリへの連携など周知広報の強化を図ったことが推定されることから、今後も、ひろばの存在やイベントの周知に加え、父親向けのイベントや親子で楽しむイベントを企画し、より多くの方が気軽に利用できるような場を目指します。</p> <p>避難・防災訓練等については5回行いましたが、今後は、災害、事故時に迅速な対応ができるよう日頃から危機管理意識を高く持ち、安心安全の確保を第一に考えるとともに、職員の業務量や負担感を考慮しながら、訓練等を計画していきます。</p> <p>平成30年度は、積極的に保育研修に参加し、研修で得た知識を職場内で共有し、サービスの資質向上に努めたり、アンケートへの回答掲示を開始し、子育てに役立つ情報を提供することなどを通して、より利用者目線での運営を行うことができました。</p> <p>次年度も、安心安全で居心地の良い”ひろば”を提供していきます。</p>